

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	情報学科						
科目名	プログラミングⅡ 演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	勝瀬郁代・馬場博巳・小林順						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御構造を利用したプログラムを作成できる。</li> <li>・配列を利用したプログラムを作成できる。</li> <li>・クラスを利用した基本的なプログラムを読んで理解できる。</li> <li>・クラスを利用した基本的なプログラムを自分で作成できる。</li> <li>・統合環境を用いたプログラムの作成から実行までの作業内容が実際に出来る。</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：本講義のガイダンスを行う。前期の範囲の復習を行う。</p> <p>第2回：制御構造について演習する。(6.1, 6.2, 6.3, 6.4, 6.5)</p> <p>第3回：配列の基礎について演習する。(7.1, 7.2, 7.3, 7.4)</p> <p>第4回：配列の応用について演習する。(7.5, 7.6, 7.7)</p> <p>第5回：クラスの構造について演習する。(8.1, 8.2, 8.3, 8.4)</p> <p>第6回：メソッドの引数と戻り値について演習する。(8.5, 8.6)</p> <p>第7回：メンバへのアクセス制限、メソッドのオーバーロードについて演習する。</p> <p>第8回：コンストラクタ、コンストラクタのオーバーロードについて演習する。(9.1, 9.2)</p> <p>第9回：復習</p> <p>第10回：クラス変数、クラスメソッドについて演習する。(9.3, 9.4)</p> <p>第11回：クラスの利用について演習する。(10.1, 10.2, 10.3)</p> <p>第12回：クラス型の変数、オブジェクトの配列について演習する。(10.4, 10.5)</p> <p>第13回：復習</p> <p>第14回：復習</p> <p>第15回：総合演習</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題						
	演習	100%		計		100%	
授業到達目標の達成度	<p>本科目は演習科目である。不合格となった者は、授業放棄をした3名と、欠席が多く、補習の課題を提出しなかった1名の計4名のみである。</p> <p>補習も含めて、演習を規定分以上こなしたという意味で、授業の到達目標は達成している。</p>						
反省点	<p>3クラスに分かれる授業であるが、あえて能力別に分けず、基礎的な課題から応用問題までを全員に課し、できるところまでを提出してもらった。能力別に分けると、下のクラスになってしまったら、基礎的な問題しか扱わないようになってしまう。下のクラスにも後伸びする受講生はいるはずだし、上のクラスと下のクラスの差がどんどん開いてしまうからである。以前の能力別クラス分けのときよりも、受講生間の能力差が縮まっているように思う。経年変化を見ると、効果が出ていると思う。</p>						
来年度の計画	今年度と同様に行う						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>総合評価7.9とそれほど高くはないが、「授業の内容は理解できましたか？」の質問や、「教員の説明のしかたはわかりやすかったですか」といった質問には、半数以上の受講生が評価4または5をつけており、わかりやすい授業とは思われていたようである。</p>						
履修登録者数	76名	定期試験 受験者数	73名	合格者数	72名	合格率	99%